

Go-Ahead 2

<https://toyono-jinjikyo.com/>

令和元年度 (2019 年度)
子ども主体の授業づくり①
(中堅教諭等資質向上研修)

第 2 回の 10 年経験者研修は、二部に分けて行いました。前半は、「校内における授業改善を進めるために ～子どもの力を引き出す授業づくり～」をテーマにグループワークをたくさん取り入れながら研修を行いました。初めに、授業改善のために「個人で取り組んでいること」「学校全体で取り組んでいること」を出し合い、交流しました。次に、人材育成の手法であるメンタリングやコーチングについて学びました。そして、それらの手法を意識しながら、模擬授業の映像を見て、どのような指導助言を行うかを考えるワークを行いました。どのワークも活発な意見交流が行われ、時間が来てもなかなか話し合いが終わらないグループがたくさんありました。

研修の後半は、次回の大阪教育大学附属小中学校で実施される初任者の先生方との合同研修 (コラボ研) に向け、当日の役割分担や中学校班では学習指導案のテーマ決めを行いました。

～ 振り返りシートより ～

各学校で授業改善のために工夫して取り組んでいることをワールドカフェ方式でたくさん知ることができました。小学校では説明できる子どもを育てるという意識で取り組みをされていて、私も意識したいと思いました。また、研究授業の後にリメイク授業を考えるという取り組みもおもしろそうだと思いました。

授業改善のための取り組みでは研究部において月一回それぞれのクラスの授業の動画を持ち寄り、交流しているという学校がありました。授業に触れる機会が圧倒的に増え、すごく良いと感じました。ぜひ、本校でも取り組みたいという思いが出てきました。さらに、授業見学交流期間を設定している学校もあり、こちらも授業に触れる機会が増えるので参考にしたいと思いました。

コーチングについて学び、本校でも経験の浅い先生方が多いので、信頼関係を築き、相手に任せて、認めることができるメンターになろうと思いました。そのためには、まずは自分が深く考え、しっかり調べられるようにならないといけないと思います。コラボ研でもそれができるようにしたいです。

コーチングでは後輩のやる気を引き出す言葉かけをととても難しく感じました。自身もどのように助言していただいていたのだろうと振り返り、常にやる気を引き出してくださっていた先輩のことを思い出しました。まだまだ助言していただきたい側ですが、より良い学校をめざすためにも後輩を育てられるように意識を変えていきたいです。

模擬授業を映像で見て、実際に指導助言するなら？と考えることはとても意味のあることだと思いました。指導助言する分、自分自身はどうなのかを振り返ることができました。

模擬授業の映像を見ながら指導助言を考え、班で意見交流ができたのが良かったです。自分と同じ観点の意見が出て、安心できただけでなく、新しい観点にも気づくことができました。コラボ研でもどんどん指導助言ができるように、今日の研修を活かしていきたいです。

研修を受けるたびに、もっと学校の核にならねばならないと感じます。勉強する気持ちと、後輩を育てる気持ちの両方を持ち合わせていこうと思います。

「コラボ研に向けて、心構えができました。初任者の方と共に学びたいと思います。」——これは、ある先生の振り返りシートの一文です。コラボ研では初任者の先生方への指導助言を通して、今後のミドルリーダーとしての在り方を考えるだけでなく、これまでの 10 年間で振り返る良い機会になればと願っています。

～お知らせ～

選択研修の受講は、計画どおりに進んでいますか？まだの方は、この機会に早めに計画の見直しと変更をしておきましょう。受講後の報告書の作成も忘れずをお願いします。